

令和5年度 事業報告

1 事業実績の総括

事業実績については、前年度と比較して請負契約についての受注件数は1,814件で66件の減、就業延人数では18,136名で、107名の減、契約金額においては85,792,708円で、前年比105.8%となっております。

一方派遣事業においては、公共9契約・民間2契約に、延べ1,833名を派遣、常陸大宮市事務所への派遣受託収益は、派遣契約への変更等があり前年比213.0%となりました。

【事業実績】

区 分	令和4年度	令和5年度
会員数	238人	222人
受注件数	1,880 件	1,814 件
	(派遣5件)	(派遣11件)
就業実人員	223 人	198 人
就業率	93.7 %	89.2 %
就業延人員	18,243 人	18,136 人
	(派遣904人)	(派遣1,833人)
契約金額	81,081,975 円	85,792,708 円
	(派遣受託収益595,049円)	(派遣受託収益1,267,752円)

2 健康で働く意欲のある方の加入促進と会員の資質・技能の向上

シルバー人材センター会員の加入促進については、全シ連が新たに設定した、第2次100万人達成計画にあたり、当センターとしても10月2日に道の駅（常陸大宮かわプラザ）にて、啓発グッズ等の配布を行い、会員募集の啓発活動を行いました。

また、市の「お知らせ版」への掲載や現会員の声掛け勧誘により新たに24名が加入、262名までになりました。しかし健康不安や希望就業がない等で40名が退会、16名減の222名となりました。

技能研修については、県シ連主催の「清掃」の講習を受講、また民間のチェーンソー・刈払機の技能講習を受講しており、民間の受講料には半額を補助するなどして、それぞれ資質と技能の向上を図りました。

3 就業開拓と就業機会の拡充

民間事業所、個人家庭、公共団体等に対して、要望等の情報収集を図りながら、シルバー事業の営業活動を行ない業務開拓に努めて参りましたが、就業先の拡充が進まず、就業機会に恵まれない会員や就業時間の少ない会員がいることも実態としてあります。

4 安全・適正就業の推進

作業中の安全対策の徹底を図るため、地域担当者による安全パトロールを実施しました。班長会議などの開催時には中心者の安全への一層の認識を図るなど、無事故への徹底を推進しました。

また、就業現場においては、常に安全確認や、依頼者へは適正就業への声掛けをするなど努めました。

さらに「いばらきシルバー交通安全情報」を回覧するなど「交通事故」の未然防止を推進しました。「熱中症」による通院等が2件ありました。その他、損害賠償事案1件、傷害事案が2件発生しました。

5 地域社会への奉仕作業の実施

シルバー人材センターでは、年1回の公共施設等の奉仕作業を実施していましたが、今年度も多くの会員が一同に会することを回避し、小規模で1か所実施したほかは実施を見送っております。

6 指定管理者の受託事業

指定管理者としましては、市民サービスの向上と経費の節減を図りながら、設置目的に沿った運営と、維持管理に取り組みました。